



学校だより ウルムス

令和2年10月30日
横浜市立釜利谷南小学校

11月号

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

校長 田中 さくら

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

霜月 釜南スポーツフェスタに向けて

明日から旧暦の霜月で、朝晩は寒さが感じられるようになり、霜の降る季節冬至も迎える11月となります。その中で、校庭や体育館、休み時間には、3階ホールなどでスポーツフェスタに向けての練習がスタートしました。応援団、リレー選手、スポフェス実行委員の児童の練習等です。コロナ禍での例年とは違うプログラムとなりますが、練習の成果を発揮し子どもたちが輝けるよう、子どもたちと一緒に準備を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【校庭のセンダンの木
黄色い実がいっぱい】



ビューティフルネーム！

「名前 それは燃える命♪ひとつの地球に～、ひとりずつひとつ♪ひとりずつひとつ♪」先日、Eテレの『子どもたちに残したい、美しい日本の歌』という番組で取り上げられていました。昭和54年にゴダイゴというグループが歌った曲「ビューティフルネーム」です。作曲はタケカワユキヒデさん、作詞は奈良橋陽子さん、伊藤アキラさん、編曲はミッキー吉野さんです。世界中の子どもの幸せを願って作られた曲で、国際児童年の協賛曲にもなりました。続きの歌詞では「ひとりの子どもの悲しみも 仲間の名前に溶ける～」 「呼びかけよう名前をすばらしい名前を どの子にもひとつの命が光っている」とあります。自分の名前を大事にしよう。友だちの名前も大切に考えて呼ぼうという意味があるように感じます。

10月1日と8日に、文化庁の芸術家派遣事業として、「劇団プレイバックーズ」が来校し、いじめ防止教室の出前授業を4年生と5年生が受けました。今まで自分がされていやだったこと、友だちがされていかわいそうに感じたことなど劇団員の俳優さんたちに演じてもらうという内容です。その中で自分の名前を変な風に替えたり、ふざけた呼び方をしたりされていやだった、あだ名になって悲しかったという事例がいくつかありました。赤ちゃんが生まれて、おうちの人の願いや思いが、夢や希望が込められて付けてもらった大切な名前を大事にしよう。友だちの名前もみんなひとりにひとつずつの命のようにすてきなものと考えていこうと話しました。

私たち教職員も学校の中で、ご家庭からお預かりしている大事なお子さんのお名前を呼び捨てにしないで、男子も女子も～さん付けで呼ぶように確認をしました。先日10月22日の放課後に教員の不適切な発言や言動を見直すために、全教職員で人権教育研修を受けました。子どもたちの人権を守るためには、子どもたちの傍にいる私たち大人、教職員自身が人権感覚をもっと磨き、高めていく必要があると改めて感じました。もちろん名前の呼び方だけでなく、全ての学校教育活動の中で、子どもたち誰もが、安心して、豊かに、楽しく過ごせるように、一人ひとりを大事にする指導を心がけていきたいという思いを共有しました。

人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成を全職員でチーム学校として目指して参ります。

保護者の皆様、地域皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

